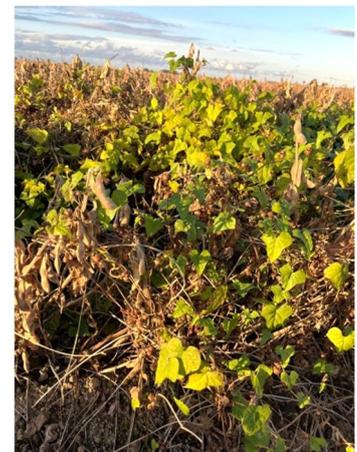


【発行者】新潟農業普及指導センター  
新津庁舎：0250-24-9626、津川分室：0254-92-0965

## 単収 200kg 以上、2 等級以上を目指して 帰化アサガオ類の適正防除

- 帰化アサガオ防除はつる化する前が勝負
- 除草剤散布と中耕・培土による適正な体系処理が必須

- 帰化アサガオ類の発生量が増えているので、確認されたほ場では下記の対策を徹底する。
- 除草剤と中耕・培土等を組み合わせた体系防除を適切に行わないと、発生・拡大を抑えることは難しい。
- 帰化アサガオ類は春から秋まで長期にわたって出芽し、出芽後 2～4 週間でつる化する。つる化すると防除が困難になるので、適期の防除が極めて重要である。
- まん延防止のために、農道や畦畔を含めた雑草管理を徹底し種子の増殖を防ぐ。



マメアサガオが蔓延したほ場

### 帰化アサガオ類の防除体系

「令和8年2月1日現在」の登録内容による

大豆播種前	大豆播種後	大豆出芽揃期～ 大豆初生葉展開期 (アサガオ2葉期まで)	大豆2葉期～3 葉期	(大豆5葉期 ～)
○丁寧な 耕耘・碎土 ○トレファ ノサイド乳 剤 (※1)	○コダール S水和剤 ○フルミオ WDG	○パワーガイザー液剤 	○大豆バサグラ ン液剤 (※2) ○複数回の中 耕・培土	○バスタ液剤 (※3) ○ラウンドアッ プマックスロー ド (※3)

※1\_トレファノサイド乳剤については、深さ 10cm 程度で全面土壌混和を行う。

※2\_マメアサガオについては、3葉期以降、効果が劣る事例がある。

※3\_中耕・培土まで体系防除を実施しても十分な除草効果が得られない場合は、つる化する前に、生育期に適用のある除草剤を散布する。

農薬の使用にあたっては、ラベルに記載されている使用基準や注意事項・使用方法をよく読み、内容を遵守して使用しましょう。  
近隣の田畑に飛散しないように十分注意してください。